

REMOTEWORKER HOUSING

将来的に在宅ワーカーが家事や育児と平行しながら仕事をする手段として増加するとされている。職場でコミュニケーションの核を培っている我々現代人にとって現在の家の間取りの中に一軒家で過ごす時間を満喫できる余地はあるのか。今回は仕事と生活空間に必要不可欠な緑を用いた在宅ワーカーのための家とコミュニティを提案する。



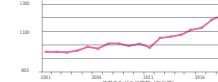
背景 01：職場を持たない人たちの増加と社会の変化

a: 共働きの増加、在宅ワーカーの増加

共働き世帯の増加により、家事や育児の間に仕事ができる在宅ワーカーなどのオフィスを持たずに仕事をする人が推奨されている。さらに、AIの進歩により人の仕事場での労働時間の減少、パソコンの普及により家でできる仕事が増えていることで在宅ワーカーの数も増加すると言われている。



AI の会議



b: 在宅ワーカーの働く空間

在宅ワーカーは自宅に仕事場所を選択することが最大のメリットであるが、その労働環境は大きく分けて生活空間との関わりの中で大きく3つに分けられる。



SEPARATE WORKROOM



PART OF LIVING ROOM



SEPARATE FROM RESIDENCE

小さな子供を持つ親は仕事の合間に家事や育児を行うため仕事場としてリビングやダイニングを選ぶことが多い。

NO COMMUNICATE

OUTSIDE (NO USED)

PRIVATE

RELAX

VITALITY

CONCENTRATION

COMMUNICATION

TRANSPORTATION

WORK

WIND

RELAX

VITALITY

CONCENTRATION

TRANSPORTATION